

ま
の



sample

か
ほ
い
う

summer

わたしがちいさなころ。おかあさんとほしをみに
いったの。いえのちかくのおかをのぼり、すこしさ
むいよるは、よくほしがみえたわ。

わたしのからだはふるふるとふるえるのに、
そんなことより、といわんばかりにめをらん
らんとかがやかせて、わたしはほしをみた。
おかあさんはふわふわのブランケットを
そっとかたにかけてくれて、それからわた
しは、いちばんおおきなほしをさがしたの。

「いちばん、おおきなほし。そこらいつも
おとうさんはあなたをみまもっているの
よ。」

そういつもおかあさんがいっていたから。



おかあさんはまほうつかいなの。

このころのおかあさんは、まほう
のつえじゃなくて、からんころん
とおたまをころがして、きまって
こういうの。

sample

「おいしくなあれ、おいしくなあれ。」

わたしが、どうして? ってきくと、



「まほうのじゅもんよ。

となえるは、ことだま。

こめるは、あいじょう。

だいすきなひとにおいしいごは
んをたべてもらうときのじゅも
んよ。」

おかあさんはわらって、あたま
をなでてくれたわ。

「おかあさん、わたしもおかあ
さんみたいなまほうつかいにな
れるかな？」



「ええ、もちろん。おかあさんとおとうさんのこだもの。」

じまんのおとうさんと、おかあさん。

けがしたって、いやなきもちだつてまほうのじゆもんがおいはらつてくれる。

「いい？もし、どうしてもまほうひつようなときは、こうとなえるの。」



「 _____。」
おかあさんがこっそりおしえてくれた
ひみつのじゅもん。

それからわたしは、しょうがっこうにはいることになって、クラスメイトができたの。

おかあさんじゃないはなしあいてに、わたしったら、とくいになっちやってね、たくさんのにいったわ。

「わたしのおかあさんと、おとうさんはまほうつかいなよ！」



そしたらね、クラスのお
とこのこが、ぽつりといっ
たの。

「まじよのこだ。のろわれ
るぞ。」



ちがう、ちがう。そうじゃない、そうじゃないのよ。

おかあさんとおとうさんは、いだいなまほうつかいで、

わたしに「あい」と「ゆうき」をおしえてくれた。

sample

ごかいしないで！やめて、

おかあさんはー。おとうさんはー。

わたしは_____。



— まじよのこた。 —

みんなそう、いってるようにみえたわ。

おかあさんの、やさしいまほうがすき。

おとうさんの、つよいまほうがすき。

でもわたしは、まだまほうがつかえなくて、

うまくいかえせなかったの。

そのひはくやしくてくやしくて、なみだ
がかってにぼろぼろこぼれたわ。

わたしはいじめられたりなんかしなかった。
たたかれないし、ものもかくされない。
だれもちかづこうとしなかったから。

それでも、むねは チクチクいたくって、
くるしかったの。

sample

おかあさんとおなじキラキラひかるかみのけも、おとうさんとおなじ、すきとおるびーだまみたいなめも。

ぜんぶかくすように、おおきなフードをかぶったのは、きつとこのころからね。

Sample

めは、まいばんなくもんだから、うさぎみたいにあかくはれたし、みんなのまえでこえだすのもこわくなって、きつくくちびるをむすぶようになったわたし。



そんなあるひのことよ。いえにもかえりづらくて、
すわれるところをさがしてたら、ノライヌにあったの。
くびわはなかったけど、おりこうでね。かいいぬだっ
たのよ、きっとね。

わたしたちは、かわべでじ
かんをわすれておしやべり
したり、おうたをうたったり
りなんかもしたわ！





sample

でも、たのしいじかんも
あつというま。まわりもみ
えないほど、むちゆうに
なっちやって。クラスメイ
トにみつかっちやったの。



「うわ、まじよだ。」

それだけで、それだけなんだけど。
わたしはいやなきもちになって、ズ
キズキとムカムカをかかえて、フー
ドをぎゅっとおさえたの。

sample

—まじよならなんかやってみてよ。

ほらまた。だからまだできないん
だってば。でもこのこはそんなのど
うでもいいの、わたしをばかにした
いだけなんだから。



ひゅっ。

あんなにしっかりとにぎっていたのに、かんたんにフードはとられて、そのこのてで、かわになげられてしまったの。

「まほうつかえばかんたんだろ？
ほら、いけよ！」

それはもう、あっというまに
わたしのまよこをかけて
おとこのこのまうえをとびこえた。

ばしやんっ。

おおきなみずおとがひびいたのは、
ノライヌがフードをおいかけて、か
わにとびこんだおとだったわ。

「ノラ!!!! はやくこっちにあがって!
ながされちゃう!!」

「だめだ! ジャックはおよげないん
だ!!!!」

あのこは、ノライヌを
知らないなまえで
よんで、とびこんだ。

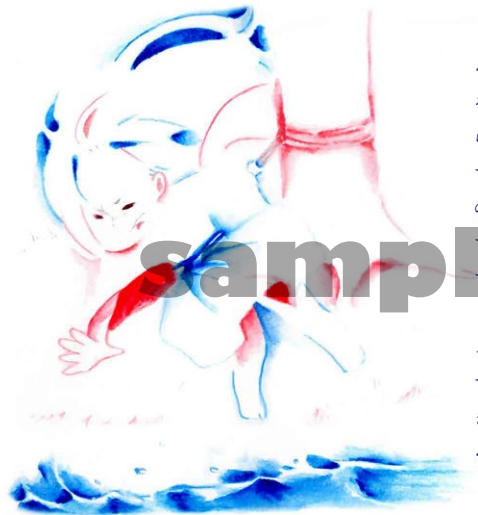
sample



ジャックをすいめんからたかくあげて、
ひっしにもどろうとするおとこのこ。で
きるわけないじゃない。ながれがはやす
ぎるし、ジャックをかかえておよぐなん
てむちやよ。

sample

おとなをよばなきや。でも、ど
んどんふたりはながされちゃっ
てる。とにかくきしにもどれな
くても、とめなきや！



そうおもったわたしは、きをしばっていたローブをからだにまきつけて、かわにてをのぼしたけれど、みずのながれがはやすぎるせいでふたりをとめることすらできなかったわ。

これじゃたすけれられない。
でも、みてるだけなんてできっこない！
そう、おもったの。

わたしに できることは
わたしが できることは
わたしは

sample



sample

まほうつかいのこななのよ。

そうおもったら、もうはしりだしてたわ。

わたししてたの、ふみだすゆうきを。

かんじたの、あのこのきもちを。

ただしいはわからないけど、とまれないの。



——まほうのじゅもんよ。

となえるは、ことだま。

こめるは、あいじょう。

おかあさんのことばをおもいだしながら、
まちがえないように、おもいをこめたの。

「となえるは、ことだま！
こめるは、あいじょう！」

——いい？もし、どうしてもまほうひつようなときは、こうとなえるの。



sample

まほう

sample

まほうのじゆもん、カラカラのひものになっちゃうく
らいのおおきなこえでさげんだら、そらにキラキラひ
かるわっかがあらわれたの。



sample

どがあんっ

とつぜんおおきなあしが、そらをさいてはえてきたわ。
かわはそこがみえるくらい。わたしたちはそらをとべた
くらい、おおきなおおきなしょうげきがおきたの。



すくいあげてくれたおおきなて
は、やさしく、ちからづよかった。
「——おとうさん…？」

すぐわかった。でもほっぺたを
なでて、それからすぐキラキラ
とゆらいできえてったの。

そしてわたしたちは、おとなの
ひとにたくさんたくさん、おこ
られたわ。

でも、ジャックもげんきだし、
あのおとこのことも、ちょっぴ
りだけど、なかよくなれたのよ。

——なんてことがあってね、」

まほうつかいはいまでもきれいなかみをゆらし、こうつづけた。

「だからあなたも、すぐまほうがつかえるようになるわ。

それにね、うまれるまえからあなたには、まほうがかかっているの。

となえるは、ことだま。

こめるは、あいじょう。そうでしょう？

ママとパパが、だいすきってきもち
でよんで、しあわせになりますよう
にっっておもいをこめた。

あなたのその“なまえ”」

sample



「じゃあ…もうすぐまほう、つかえるようになる？」

「もちろん！とっておきをおしえちやう！」

「あたししってるー！」

したいの
sample
つらいの
とんでけー！

まほうつかいのこ おしまい

まほうつかいのこ

2017年8月 初版発行

印刷・製本・発行 石田製本株式会社

STAFF

イラスト・文 いたないことみ

sample

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたします。011-676-4520 までご連絡ください。

こちらの絵本は石田製本株式会社の完全オリジナルの商品でございます。
書店には置いていない、とってもレアな絵本となっております。

販売

いしだえほん

〒063-0836

札幌市西区発寒16条14丁目3-31 TEL 011-676-4520

URL <http://p-books.jp/ehon/>